

2年国際探究科

フィールドワーク「紅花染め・紅餅づくり」

8月3日(火) 海老ヶ沢べにばな愛ランドを会場に、国際探究科の2年生がフィールドワークを行いました。「最上川流域の紅花システム」について学び、紅花染め、紅餅づくりを実際に体験しました。

「国際探究科フィールドワーク」に参加して

2年 男子

前回の株式会社新田さんでの工場見学に続いて、今回は紅花染めと染料の材料である紅餅づくりを体験させていただきました。8月3日のこの日は非常に暑い日でしたが、そんな暑さを忘れるほどの興味深いプログラムでした。この体験で私が学んだことは、鈴木さんをはじめとする紅花産業従事者の方たちの多大なる努力と富山湾より深い紅花への愛情です。私たち2年生国際探究科はこの日、体験とは言うものの実践さながらの紅餅づくりを行いました。なんとそのまま商品として出荷するとのこと、体験ではなくまさに「仕事」をさせていただいたこととなります。その後の鈴木さんや米沢市役所の相田さんのお話の中で、この日の仕事による収入への換算をしていただきましたが、決して多いとは言えない金額でした。これらの紅餅にかかわる作業を地道に続けて、紅花産業の振興、そして「最上川流域の紅花産業」を「世界農業遺産」へ導こうとしている鈴木さんたちの原動力は、お金ではなく純粋に紅花を愛する気持ちであると、改めて知ることができました。この体験を通して、私も真に紅花産業に興味を持ち、米沢市民として一体となって世界農業遺産登録へ向かいたいなと思いました。

最後になりますが、このような楽しい企画の準備・運営にご尽力くださった米沢興讓館高等学校の先生方、鈴木さんをはじめとする紅花産業従事者の方々、米沢市役所地域振興課の相田さん、その他関係の皆様、厚く御礼申し上げます。

紅花への想いを感じて

2年 女子

今回の「国際探究科フィールドワーク」で私たちは、紅花染め、紅花餅づくりを体験させていただきました。この体験を通して感じたことは、紅花は栽培、収穫、染料となるまでに、私たちが思っていた以上の手間がかかり、地元の方々の協力が必要不可欠だということです。また、紅花に関することに携わっている方々の誇りや、紅花をもっと知ってもらいたいという強い想いを感しました。これからの活動では、今回学んだ紅花の魅力、市内はもちろん、市外、県外にも発信していけるような取り組みをしていきたいです。



全国高等学校総合文化祭

第45回全国高等学校総合文化祭(紀の国わかやま総文2021)が和歌山県で開催されました。近畿大学を会場に行われた自然科学部門にCSS部の生徒が参加してきました。

全国高総文祭に参加して

3年 男子

私は、8月1日に和歌山県で行われた、全国高等学校総合文化祭の自然科学部門に参加してきました。今回の私の発表内容は、枝豆を乾燥させたときの代謝成分の変化を調べるもので、昨年度の秋から山形大学工学部の研究室に参加させていただき指導していただいた内容です。難しいと思ったこともたくさんありましたが、日常とのかかわりも強い題材だったので、新しく自分の力で知識を得ることがとてもいい経験になりました。そして、とても緊張しましたが、自分のやってきたことを多くの人前で発表する機会に恵まれよかったと思っています。発表は、今まで研究してきた成果を他の参加している生徒や審査員の方に伝えるように自分なりに考えて進めることが出来てよかったです。とても貴重な体験だったので、これから自分がしていく様々な事に活かしていけるように頑張りたいです。

